

Q

ろ過池の覆蓋化について

A

1. ろ過池の覆蓋化とは

ろ過池の覆蓋化とは、「ろ過池」に覆い等を設置することをいいます。

ろ過池の覆蓋化を図ることは、水道水への異物混入を防止する上で有効な方策の一つであり、水道水の安全が確保されるなど高い効果を得ることができます。

また、平成12年に制定された「水道施設の技術的基準を定める省令」(厚生省令第15号)では、「濾過池を設ける場合にあっては、水の汚染のおそれがないように、必要に応じて、覆いの設置その他必要な措置が講じられていること。」としています。

2. 覆蓋方法

ろ過池を覆蓋する方法としては、ろ過池全体を建物で覆う方法や、アルミニウム製やFRP製の覆いを1池ごとに設置する方法などがあります。

覆蓋方法については、ろ過池の構造、総面積又は1池あたりの面積、維持管理性、などを踏まえて選定します。

3. 留意点

設置にあたっては、ろ過砂の更生作業や、管路・トラフの補修、交換といった平常時の維持管理作業の妨げとならないようにする必要があります。

ろ過池全体を建物で覆う場合は、塩素の影響を考慮し、換気設備の設置や、ろ過池周辺に設置されているバルブや手すり等の施設について防食措置を施す必要があります。

また、ろ過池を1池ごとに覆う場合、ろ過池の維持管理面から可動式の覆蓋構造となるため、材質の軽量化や耐塩素性のものを考慮していくことが必要となります。

4. 上部利用

ろ過池の覆蓋化に併せて、覆蓋の上部に太陽光発電設備を設置することで、自然エネルギーの有効活用を図っている例もあり、環境保全に積極的に貢献することが可能となります。

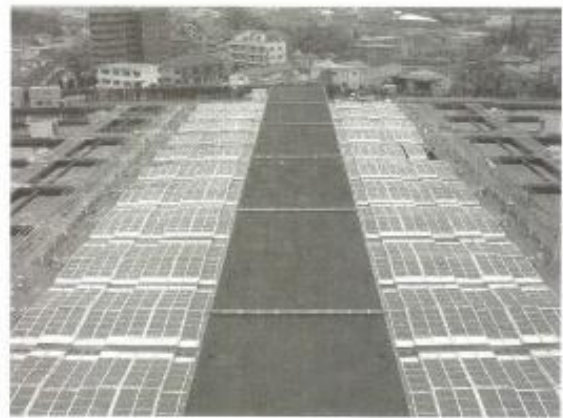


図 ろ過池覆蓋設置例（東京都水道局朝霞浄水場）

（出典：水道技術ジャーナル 2005年4月）